



特異なる

「倫敦契約」に就いて

賀屋俊雄

「倫敦契約」は、世界史上空前の偉業である。それは、人類の歴史に、永遠の光輝を放つものである。それは、人類の歴史に、永遠の光輝を放つものである。それは、人類の歴史に、永遠の光輝を放つものである。

（以下、本文の要約）

「倫敦契約」は、世界史上空前の偉業である。それは、人類の歴史に、永遠の光輝を放つものである。それは、人類の歴史に、永遠の光輝を放つものである。それは、人類の歴史に、永遠の光輝を放つものである。

行ぜらるべき

全體主義

片山正直

今日我々が、世界に於ける地位を、如何に認識し、如何に行動すべきか、を論ずるに當り、全體主義の思想を、我々の指導の針とするべきである。

（以下、本文の要約）

今日我々が、世界に於ける地位を、如何に認識し、如何に行動すべきか、を論ずるに當り、全體主義の思想を、我々の指導の針とするべきである。全體主義とは、個人主義の対極にあるものであり、個人主義が個人の利益を追求するのに対し、全體主義は、社会全体の利益を追求するものである。

報國の大義

前田聰瑞

報國の大義とは、国家の存続と発展のために、個人を犠牲にするべきである。これは、人類の歴史を通じて、常に繰り返されてきた真理である。

（以下、本文の要約）

報國の大義とは、国家の存続と発展のために、個人を犠牲にするべきである。これは、人類の歴史を通じて、常に繰り返されてきた真理である。報國の大義は、個人の私利私欲を超越し、国家の利益を追求することを意味する。

全體主義の思想は、個人主義の対極にあるものであり、個人主義が個人の利益を追求するのに対し、全體主義は、社会全体の利益を追求するものである。

（以下、本文の要約）

全體主義の思想は、個人主義の対極にあるものであり、個人主義が個人の利益を追求するのに対し、全體主義は、社会全体の利益を追求するものである。全體主義は、個人の自由と権利を尊重しつつ、社会全体の利益を追求することを主張する。

普文・高文要領参考書

第一編	第二編	第三編	第四編	第五編	第六編	第七編	第八編	第九編	第十編
国語	算術	理科	社会	歴史	地理	英語	音楽	美術	体育
...

最新刊

人倫論・國際貿易

小島南亮三郎著

人倫論の核心は、個人と個人との関係にある。この関係を正しく理解することは、社会の発展にとって不可欠である。

（以下、本文の要約）

人倫論の核心は、個人と個人との関係にある。この関係を正しく理解することは、社会の発展にとって不可欠である。人倫論は、個人の道徳的責任を明らかにし、社会全体の利益を追求することを教える。

日本資本主義の成立

堀江保藏著

日本資本主義の成立は、明治維新以降の歴史の中で、重要な役割を果たした。その成立の経緯を、詳しく考察する。

（以下、本文の要約）

日本資本主義の成立は、明治維新以降の歴史の中で、重要な役割を果たした。その成立の経緯を、詳しく考察する。日本資本主義の成立は、国家の近代化と発展の基盤となった。

金融論研究

正井敬次著

金融論研究は、現代社会の発展に不可欠な要素である。その重要性を、詳しく考察する。

（以下、本文の要約）

金融論研究は、現代社会の発展に不可欠な要素である。その重要性を、詳しく考察する。金融論研究は、国家の経済政策の基礎となる。

帝國主義下の印度

矢内原忠雄著

帝國主義下の印度は、複雑な歴史を辿ってきた。その歴史を、詳しく考察する。

（以下、本文の要約）

帝國主義下の印度は、複雑な歴史を辿ってきた。その歴史を、詳しく考察する。帝國主義下の印度は、国家の発展と衰退の歴史を写し出している。

新會社法講義要綱

原田鹿太郎著

新會社法講義要綱は、現代社会の発展に不可欠な要素である。その重要性を、詳しく考察する。

（以下、本文の要約）

新會社法講義要綱は、現代社会の発展に不可欠な要素である。その重要性を、詳しく考察する。新會社法講義要綱は、国家の経済政策の基礎となる。

大同書院



聖地に鉄を鑿して 無私の奉仕を捧ぐ

植原の聖地に勤勞奉仕

聖地日本における人倫教育活動の中心として、植原の聖地に勤勞奉仕の活動が展開されてきた。この活動は、聖地の建設と並行して、無私の奉仕を通じて、社会に貢献することを目的としている。植原の聖地は、多くの有志者の協力によって、現在に至るまで、着々と建設が進んでいる。この活動を通じて、参加者は、働く喜びや、社会への責任感を学ぶことができるとされている。

改正草案決定す

學科目整理は別個に再考慮 學則改正委員會

學則改正委員會は、本日、改正草案の決定を行った。この草案は、現在の教育制度を踏襲しつつ、必要に応じて調整を行う方針を基本としている。特に、學科目の整理については、別個に再考慮が必要であると判断された。これは、各大学の特色や、社会のニーズを十分に反映させるためである。また、教育の質を向上させるための具体的な措置も盛り込まれている。

學科目の再検討 萬難を排して断行せよ

學科目の再検討は、教育の質を向上させるための重要なステップである。万難を排して断行せよ、という強いメッセージが投げかけられている。これは、現状に安んじておらず、大胆な改革を推進することを求めている。各関係者は、この改革に協力し、教育の革新を実現させるべきである。

商店街調査の収穫

商店街調査の結果、多くの収穫があった。この調査は、地域の経済状況を把握し、活性化策を立案するための重要なデータを提供した。特に、消費行動の変化や、新規店舗の立地傾向などが明らかになった。これらの情報は、自治体や事業者にとって、非常に貴重なものである。

冷雨を衝いて 聯合演習終る

冷雨を衝いて、聯合演習は無事終了した。演習は、厳寒の条件下でも、参加者全員が意気揚々と参加し、高い士気と協力を示した。これは、チームワークと精神力の試練であった。今後の活動でも、このような姿勢を維持し、さらなる発展を目指して取り組んでいく。

學生よ、覺悟して 進め長期建設へ

國民精神作興講演會

學生よ、覺悟して進め長期建設へ。國民精神作興講演會で、このメッセージが強調された。講演者は、現在の社会状況を分析し、若者が持つべき責任と覚悟を述べた。長期建設には、一人ひとりの努力と覚悟が不可欠である。若者は、自覚を持って社会に貢献し、国家の発展に力となるべきである。

統計は語る 豫科生の生活調査

統計は語る。豫科生の生活調査の結果が明らかになった。調査によると、多くの学生が学業と生活の両方をバランスよくこなしていることが確認された。一方で、経済的な負担や、精神的なストレスなどの課題も指摘されている。学校側は、これらの課題に対応するための支援策を検討すべきである。

協同劇團員 演劇座談會開催

千里山文藝會主催

協同劇團員による演劇座談會が開催された。千里山文藝會が主催したこの座談會では、演劇界の現状や、今後の展望について、活発な議論が行われた。参加者からは、演劇を通じた社会へのメッセージの発信が求められていることが強調された。

文部省申告の豫備調査完了

文部省申告の豫備調査が完了した。この調査は、教育行政の効率化と透明性の向上を図るための重要な取り組みである。調査の結果、現状の問題点や改善の方向性が明確になった。これに基づいて、具体的な改革策が打ち出される見込みである。

高文合格者 量的に低下す

高文合格者の数が量的に低下していることが報告された。これは、教育制度や受験環境の変化による影響が考えられる。関係者は、この低下を食い止めるための対策を検討している。同時に、学生の学習意欲を喚起し、学力向上を図るための取り組みも進められている。

意外・漸減の傾向 十月の圖書閲覧者

十月の圖書閲覧者数が意外な傾向を示している。一般的にこの時期は閲覧者が増える傾向があるが、今年は逆に減少している。これは、読者の関心の変化や、図書館のサービス内容の調整などが原因と見られる。関係者は、読者のニーズに応じたサービス改善に取り組んでいる。

大學を論ず

大學を論ず。現代社会における大學の役割や、教育の重要性について議論されている。大學は、単に知識を授けるだけでなく、学生の人格形成や社会への貢献を促す役割も果たしている。しかし、現状では、教育の質や、学生の生活環境などが課題となっている。関係者は、これらの課題を解決するための改革を推進している。



富士の雑誌や新聞に関する情報。読者の声や、編集者のコメントなどが掲載されている。読者の支持と理解をいただき、今後もより良いコンテンツを提供していくことを目指している。

商學會

商學會の活動報告や、今後の予定が紹介されている。商學會は、学生の商業知識の習得と実践力を高めるために、様々なイベントや講座を開催している。参加者は、これらの活動を通じて、社会で活躍するためのスキルを身につけている。

廉價と良質で 業界を風靡す

時局柄 柄部を 修繕部を 御利用下さい

心ぶらのおついでに

(心齋橋筋大賣場角)

洋服デパート

高等専門・大學生諸士の店としての

哲學 宗教 經濟 法政 文學 機械 工學 教育 物理 化學 其他一般圖書

駿々堂販賣部

大坂市南區心齋橋北端 東西南角。電話 船場一〇七番
天王寺東區南區 大坂天王寺西門外。電話 天王寺二七〇番
京都府京都市 京都河原町西側。電話 西區本町四三八番

門專裝服マダマ

若人よ新しい服装は光る!!

若人よ新しい服装は光る!!

店服洋合河

角點又交目一橋本日

番一八三三南話電

國試家

第一卷第十號

定價 一圓

發行日 十一月五日

送料 二角

一 大日本帝國憲法理由 植原博士 尾佐竹 猛

二 被疑者、被告人を救ふの唯一方策 植原博士 尾佐竹 猛

三 一會社目的の範圍 判事 林 徹

四 民事訴訟法實習 判事 大里 徹

五 債權法各論 最近大學試験問題解答 判事 吉雄 二九

六 答案作成上の要領 判事 江口高次郎 七

七 國家試験委員の職務 判事 初田 潤 八

八 貯蓄を論ず 池澤 武藏 九

九 時局に對する國民の覺悟を論ず 池澤 武藏 九

一〇 非常時局に際して國民の覺悟を論ず 池澤 武藏 九

一一 近代戦争の特質を論ず 池澤 武藏 九

一二 附 櫻城根 嘉一 九

一三 附 山寺 淺郎 九

一四 附 丸 九

一五 附 丸 九

一六 附 丸 九

一七 附 丸 九

一八 附 丸 九

一九 附 丸 九

二〇 附 丸 九

二一 附 丸 九

二二 附 丸 九

二三 附 丸 九

二四 附 丸 九

二五 附 丸 九

二六 附 丸 九

二七 附 丸 九

二八 附 丸 九

二九 附 丸 九

三〇 附 丸 九

